

英語科学習指導案

日 時 平成 26 年 6 月 17 日 (火) 5 校時
展開学級 千葉市立葛城中学校 2 年 B 組
展開場所 2 年 B 組教室
授 業 者 劔持 綾香

単元名 NEW CROWN 2 Lesson 3 For Our Future

1 単元の目標

- (1) 友だちにインタビューして、友達と自分の予定を発表する。
- (2) 自分の考えや知っていることを話したり書いたりする。
- (3) ニュースや天気予報を聞いて、要点を聞き取る。
- (4) パンフレットを読んで、書き手の意向を読み取る。
- (5) 間違いを恐れず積極的にインタビューをする。
- (6) 未来を表す表現 **will**、**be going to** ～、接続詞 **that**、助動詞 **must** を用いた文の構造を理解する。

本単元は、世界の子どもたちが集まる国際会議に、健が発表者として出席するという内容である。会議当日に、ポールと久美がお互いの今日の予定について話す場面や、ナシードとメイリンが地球環境問題について意見を交わす場面で構成されている。本単元は、自分や友だちの予定について話したり、自分の考えや知っていることについて話したりするのに適した内容となっている。教科書を通して、未来を表す表現や接続詞 **that** の使い方を学び、予定について話す活動や、考えや知っていることを話したり、書いたりする活動を繰り返しトレーニングする。また、ニュースや天気予報を聞き取ったり、パンフレットを読み取ったりする活動を通して、自分や友だちの予定について話す力や、自分の意見を述べる力を養う。

2 生徒の実態

(第 2 学年 B 組男子 17 名、女子 14 名、計 31 名)

〈省略〉

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
①間違いを恐れず積極的にインタビューをする。	①友だちにインタビューして、友だちと自分の予定を発表することができる。 ②自分の予定を書くことができる。 ③自分の考えや知っていることを話したり、書いたりすることができる。	①ニュースや天気予報を聞いて、要点を聞き取ることができる。 ②パンフレットを読んで、書き手の意向を読み取ることができる。	①未来を表す表現 will 、 be going to ～、接続詞 that 、助動詞 must を用いた文の構造を理解している。

(注)

・各観点の名称については、記述の便宜上、以下の通りとする。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度 : ア

外国語表現の能力 : イ

外国語理解の能力 : ウ

言語や文化についての知識・理解 : エ

4 指導と評価の計画（11時間）

時間	○ねらい ・ 学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・ warm-up として地球の写真や映像を利用し、見えるものや地球の状態について知っていることを対話する。 ・ 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
	○未来を表す表現 will を用いた文の構造を理解する。 ・ 未来を表す表現を用いた文の構造を知る。 ・ 未来を表す表現を用いた文を使えるように練習する。	エの① アの①	後日ペーパーテスト 活動の観察
2	○未来を表す表現 will を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、未来を表す表現の使い方を理解する。 ・ 教科書本文から、案内ポスターに書く時に使われる表現を探す。	エの①	後日ペーパーテスト
3	○未来を表す表現 be going to～を用いた文の構造を理解する。 ・ 未来を表す表現を用いた文の構造を知る。 ・ 未来を表す表現を用いた文を使えるように練習する。	エの① アの①	後日ペーパーテスト 活動の観察
4	○未来を表す表現 be going to～を用いた文の構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、未来を表す表現の使い方を理解する。 ・ 教科書本文から、自分や相手に予定をたずねる表現を探す。	エの①	後日ペーパーテスト
5 本 時	○接続詞 that を用いた文の構造を理解し、使う。 ・ 接続詞 that を用いた文の構造を知る。 ・ 接続詞 that を用いた文を使えるように練習する。	エの① アの① イの③	ノート 後日ペーパーテスト 活動の観察
6	○接続詞 that の文構造を理解する。 ・ 教科書の本文を通して、接続詞 that の使い方を理解する。 ・ 教科書本文から、自分の意見を述べる表現を探す。	エの①	後日ペーパーテスト
7 8	○パンフレットの要旨を読み取る。 ・ 教科書本文を読む前に、タイトルや挿絵から内容を推測する。 ・ 本文を黙読し、いつ、誰が、どんな内容を提案するのか、大まかな内容を読み取る。	ウの②	後日ペーパーテスト
9	○ニュースを聞いて、要点を聞き取る。 ・ 英語ニュースを聞き取る。 ・ 各地の天気についてレポートする。	ウの①	後日ペーパーテスト
10	○級友とお互いの予定についてインタビューする。 ・ 2人の土曜日の予定を聞き取り、未来を表す表現を確認する。 ・ ペアでお互いの予定をたずね合う。 ・ グループでお互いの予定をたずね合う。 ・ メモをもとに級友の予定を発表する。	イの① アの①	後日ペーパーテスト 活動の観察
11	○まとめ ・ 自分の週末の予定や自分の意見について、英語4文程度で書く。 ・ グループで発表する。 ・ 代表者が全体の前で発表する。 ・ 発表者に対し、評価とコメントを書く。	イの② イの③	ハンドアウト ハンドアウト

5 本時の指導 (第5時)

(1) 本時の目標

- ①間違いを恐れず積極的にインタビューに取り組むことができる。
- ②「～だと思う」「～だと知っている」と自分の考えを話したり、書いたりすることができる。

(2) 本時の展開

過程	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
挨拶 (1分)	○英語で挨拶する。 “Good morning, everyone.”	・明るく元気に挨拶をし、英語を学習する雰囲気を作る。	
Warm-up (8分)	○歌 “Let it go” を歌う。 “Now, let’s sing a song.” ○通訳トレーニングを行う。 ・日本語を読み、それを英文にする。 “Let’s do 通訳 training.”	・教師も一緒に歌い、大きな声で歌えるように促す。 ・机間指導し、しっかりと英文を言えているかを見る。	
導入 (5分)	○接続詞 that を用いた文を聞く。 ・生徒になじみのある学校の先生の写真を出す。 T: (中村教頭先生の写真を出し) Do you know this man? S1: He’s 中村教頭先生。 T: Yes. He’s a math teacher. I think he is strict. Do you think that he is strict? S2: Yes, I do. T: Do you think that he is kind? S3: Yes, I do. T: You think that he is kind. And I know that he runs every day. Do you know that he runs every day? S4: Yes, I do. T: You know that he runs every day. ・接続詞 that を用いた文の意味について確認し、本時の目標を確認する。	・先生の写真を示し、親しみやすい形で目標文を口頭導入する。 ・黒板に掲示してある本時の目標を見ながら確認させる。	
	「～だと思う」「～だと知っている」と自分の考えを言ったり、書いたりすることができる。		
	・接続詞 that についての説明を聞き、お助けブックの p.53 L-9 にアンダーラインを引く。		
展開1 (10分)	○接続詞 that を用いた文を言う。 ・イラストを見ながら口頭練習する。 ・全体で練習した後、個人で言い、全体で確認する。 T: Please describe the pictures in English with “I know that ~”. S: I know that he enjoyed rides at Disney Sea. I know that he went shopping in Ario. I know that he was at home. I know that he was in the science lab. I know that he was working in the office. I know that she was playing the piano in the music room. I know that she was dancing in the gym. I know that he was swimming in the pool.	・目標文を正確に言えるようにするため、さまざまなモデル文を示す。 ・PCのスライドに、イラストと英文のヒントを示す。 ・全体でリピートさせた後、生徒を指名し、接続詞 that を用いた文がしっかりと言えているかを確認する。	

<p>展開2 (15分)</p>	<p>○接続詞 that を用いた文を使ったインタビューゲームを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの説明を1分間で読み、近くの人とゲームのやり方を理解する。 ・教師によるデモンストレーションを見て、ゲームのやり方を確認する。 <p>T: Please read the handout in 1 minute. Then talk about the rules of the game with each other. (ゲームのやり方)</p> <p>【デモンストレーション①】 班内で情報を伝え合う。 T1: Do you know about Mr. Kan? T2: (配られた紙を見て) I know that he was playing table tennis in the gym. T1: Ok. Then, T3, Do you know about Ms. Mori? T3: I know that she was singing songs at Karaoke.</p> <p>【デモンストレーション②】 歩き回ってパートナーを探し、情報を伝える。 T1: Hi, I know that Mr.～. T2: You know that Mr. ～. I know that Ms.・・・. T1: You know that Ms.・・・. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語を使わない、というルールを伝え、英語で情報を伝え合うことを確認する。 ・紙は持って歩かないことを伝える。 ・デモンストレーションを行い、ゲームのやり方を具体的にイメージさせる。 ・机間指導をし、やり方が分からない生徒や、英語の発音分からない生徒に助言する。 	<p>・活動の観察 (目標①)</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>○接続詞 that を用いた文についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 that を用いた文を使って、プリンを奪った人物を推測し、ノートに書く。 <p>T: Please guess the teacher who took the pudding away, and write your ideas on your notebooks.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物を推測した文を書いた後、友だちについて自分の知っていることや、考えについての文をノートに書く。 <p>T: Please write about your friends using “I think that ～”and “I know that ～.” 《生徒が書くと想定される文》 I think that my friend is very kind to me. I know that my friend plays games every day.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の一人が黒板に文を書いて発表し、全体でプリンを奪った人物を確認する。 <p>S: I think that Mr.○○ took the pudding away.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をし、自分の考えが書けているかどうかを添削する。 ・人物を推測して文を書いた生徒に、教師が次の課題のプリントを配る。 ・机間指導をし、書き方が分からない生徒には、口頭で例文を示すなど、アドバイスをする。 	<p>・活動の観察、ノート (目標②)</p>
<p>挨拶 (1分)</p>	<p>○挨拶をする。 “Good bye, everyone.”</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・活動によく取り組んだことを誉める。 	

(3) 本時の評価

- ①間違いを恐れず積極的にインタビューに取り組むことができたか。
- ②「～だと思う」「～だと知っている」と自分の考えを話したり、書いたりすることができたか。